

# 施策評価シート（平成28年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	2-1	政策名	環境の保全	政策の 目指す姿	豊かな自然と生活環境を守り 暮らしています	施策 主管課	生活環境課	施策主管 課長名	清水 正浩
	施策No.	2	施策名	自然環境の保全	施策の 目指す姿	自然への理解を深め、自然を保護 する活動を行っています	関係課名	大迫総合支所地域振興課		
	現状と課題	本市の豊かな自然環境を保護し、次世代に引き継いでいくため、市民一人ひとりが自然に対する理解を深め、自然と共生していく意識を持つことが大切です。								

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

(1)自然保護の推進
○早池峰山等の自然環境保護
・早池峰国定公園地域における自然公園保護管理員の設置や花巻市、遠野市、宮古市等で構成する早池峰国定公園地域協議会への支援を実施
○水質の定期観測
・河川の水質環境を調査するための定期的な観測の実施
○希少生物等の保護への支援、啓発
・ゼニタナゴの生息環境保全活動への支援
・特定外来生物の駆除についての啓発
・花巻市に生息する動植物について、現状把握と保全活動のあり方を考えるための基礎資料とするため、アンケート調査を実施
○環境保全意識の啓発
・早池峰山地域におけるごみの投げ捨てや登山道以外への侵入による高山植物の踏みつけ防止などの啓発
・環境学習講座の実施、水生生物調査や環境マイスター派遣制度を活用した身近な環境調査等により環境保全意識の啓発

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
自然環境を守るための行動を実際に行っている市民の割合(E-2)	市民がどれだけの割合で自然保護活動に関わったかを示す指標	出典:市民アンケート 問:あなたはこの1年間に、次のような自然環境を守る行動を行ったことがありますか。いくつか、あてはまるものに○をしてください。(1)身近な水辺空間の環境保全 (2)野鳥や生き物が住める環境づくり (3)自然環境を守るための学習活動 (4)植樹などの森林保護活動 (5)住んでいる地域の美化活動 (6)その他	%	目標値				63.0	65.0	67.0
				実績値	-	58.6	56.6	59.9	62.3	60.6
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>■成果指標「自然環境を守るための行動を実際に行っている市民の割合」・・・【達成度b】</p> <p>実際に行動を行っている市民の割合は、目標値には届かずほぼ横ばいで推移している。要因として自然保護活動についての周知不足が考えられることから、今後さらなる啓発や環境学習機会の提供により意識づくりを図っていく必要がある。</p>

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	河原の坊施設管理事業	大迫総合支所地域振興課	A	-
	河原の坊総合休憩所、早池峰山山頂避難小屋、鶏頭山避難小屋、うすゆき山荘の維持管理			
2	自然環境保全活動推進事業	大迫総合支所地域振興課	A	-
	早池峰国定公園地域での自然環境保全のため、自然公園保護管理員を配置(4人) 早池峰国定公園地域協議会の実施する入山式、高山植物盗採防止パトロール(9名)などへの支援			
3	早池峰地域活性化事業	大迫総合支所地域振興課	A	B
	早池峰山登山道案内標識(10本)や登山者投函箱(3基)の制作、緊急避難施設うすゆき山荘の一部改修や屋根・外壁の塗装、岳地域駐車場の舗装整備			
4	河川水質定期観測事務	生活環境課	A	-
	市内の河川水質の定期観測を実施(37地点 147回)			
5	在来生物保護支援	生活環境課	A	-
	ゼニタナゴの生息環境を保全するため、自然保護団体が行う保護活動を支援			
6	特定外来生物駆除啓発事務	生活環境課	A	-
	アレチウリ、オオキンケイギク、オオハングソウ、セアカゴケグモの駆除について広報及びホームページで啓発(広報掲載1回 ホームページ随時掲載)			
7	環境学習推進事業	生活環境課	A	C
	環境マイスター派遣制度による環境学習支援のほか、環境学習講座や水生生物調査を実施(環境マイスター派遣23回、環境学習講座4回、水生生物調査11回)			

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)  
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

環境マイスターを講師とした環境学習講座の開催回数を増やし、より多くの学習機会を提供する。

(新たに取り組むべき事業はないか)

なし

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・早池峰国定公園地域においては、関係機関や自然公園保護管理員による自然保護活動により自然環境の保全が図られているが、引き続き登山者のマナーの向上について意識啓発を図る必要がある。
- ・自然環境を保全するためには、動植物の現状把握する必要があるが、調査がなされていない。
- ・特定外来生物の生息域の拡大により、在来種の衰退など生態系への影響や市民生活への影響が懸念される。
- ・環境学習講座等への参加者アンケートによると、環境マイスター制度について初めて知ったという人が多かったことから、制度についてさらなる周知が必要である。

(今後の方向性)

- ・早池峰国定公園地域における自然環境を守るため、関係機関や自然公園保護管理員による自然保護活動を継続することにより、登山者に対する携帯トイレの普及などのマナーの向上を図るとともに、高山植物の保護についての理解と自然環境の保全に努める。
- ・自然保護団体等から情報提供をいただくなど、本市に生息する動植物の現状把握に努めるとともに、保全活動のあり方について検討する。
- ・希少生物の保護について引き続き支援を行うほか、特定外来生物の駆除について広報紙やホームページを活用し周知に努め、生態系の保全を図る。
- ・環境マイスター制度について、広報紙やホームページをはじめさまざまな媒体を使った周知に努める。